

調査概要

学習についての調査・研究は、これまでも数多く行われており、福武書店教育研究所でも、過去10年間にわたって、児童・生徒に調査を実施してきた。本調査は、小・中・高校生を対象とした「学習行動」「学習に対する気持ち、考え方」を経年で調査することを目的として企画し、昨年9月に第1回目の調査を実施した。学習に関する小・中・高校という学校間の特徴を探るとともに、今後経年で実施し時代による変化も把握できるように「質問」を配慮した。

留意点としては、

- ①原則として小・中・高校共通で質問できる項目に限定した。
- ②時代の変化が読み取れるように、各項目は今後行われる調査で使用できるように配慮した。
- ③全国調査として使用できるように地区選定を考慮した。
- ④そして、高校に関しては、進学状況による特徴を探れるようにサンプル抽出に配慮した。

本書は、高校生の調査結果をまとめたものである。以下、高校生について説明する。なお、小・中学生の調査概要については10ページにまとめた。

- ＜調査テーマ＞ 高校生の学習に関する意識・実態調査
- ＜調査方法＞ 学校通しの質問紙による自記式調査
- ＜調査時期＞ 1990年9月～10月
- ＜調査地域＞ 全国4地区（東京23区内、東北、中四国、九州）の都市部と郡部
- ＜調査対象＞ 公立普通科高校2年生
- 進学状況による属性区分（1990年3月実績）
- | | |
|-------|---------------------------------|
| 超進学校 | 国立大学合格者(200名以上のうち東大、京大合格者10名以上) |
| 進学校 | 国立大学合格者(100名以上) |
| 準進学校 | 国立大学合格者(10名以上) |
| 就職進学校 | 上記以外 |

本書の概要

- ＜調査項目＞
- ①高校生の学習行動
学校の授業／家での勉強／学習塾・予備校・家庭教師・通信教育／勉強の仕方／学習関連行動／健康状態
 - ②高校生の学習・成績観
成績の自己評価／よい成績をとるために／勉強の効用／勉強してうれしいと思うとき／学習上の悩み

＜有効回収票の構成＞ (人)

	性別		高校属性				合計
	男子	女子	A 超進学校	B 進学校	C 準進学校	D 就職進学校	
東京都	231	242	69	90	181	133	473
東北	402	143	140	154	120	131	545
中四国	274	210	87	136	125	136	484
九州	300	203	126	241	136	—	503
合計	1,207	798	422	621	562	400	2,005

＜執筆分担＞

- 第1章……耳塚寛明(お茶の水女子大学助教授)・白石光史(福武書店教育研究所)
- 第2章……耳塚寛明(お茶の水女子大学助教授)
- 第3章……耳塚寛明(お茶の水女子大学助教授)